

年に 広に は約 ウン で構 各地 てい や工

親子体操や食育講

席。広瀬孝子代表(66)は、
新型コロナウイルスの影響で相談活動が制限されていると課題を挙げ「研修などに参加するなどして知識をアップデートしながら保護者の支援を続けていきたい」と話していた。(井上華菜子)

冒険家の父

かっこいい

松山 河野兵市さん 長男講演

伊方町出身の冒険家 河野兵市さん(19)が、父の「かっこいい生き方」について語った。

58(2001年)の長男遼兵さん(28)が、13日、松山市上野町の県生涯学習センターで講演した。地球を舞台とし、自分の思いにまっすぐ進んでいっ



跡を残したが、01年に北極点から古里の伊方町(旧瀬戸町)を目指す旅の途中で遭難死した。

自作のいかだを使っ

たアラスカ・ユーコン川での下りや自転車で、の南米大陸縦断など、さまざまな手法で旅をした兵市さん。遼兵さんは、父親が多方向

の視点からの冒険を通じて世界の見え方が

息子から見た河野兵市さんの「かっこいい生き方」について語る遼兵さん

まったく違うと気づき、自分なりに感性を磨いていたと紹介した。

子どもと一緒に風呂

に入ったり、トランプ

遊びをしたりする「普通」の父親としての姿

や、1度の食事でも

メンの丼7杯を平ら

げていたエピソードも

披露。「冒険とは、今いる場所から一歩前に踏み出す勇気のことだ」という兵市さんの言葉を引き合いにし「パワフルな人間だったけど、一番強かったのは気持ちだった。始めたことを続けることが成功への第一歩と胸に刻んでいる」と結んだ。

企画展は3月13日

まで。兵市さんが生前

語った物語の絵本の

出版を目指すクラウド

ファンディングは

当初の目標の100

万円を突破。150万

円を目指し、2月28日

まで寄付を募ってい

る。

(杉本賢司)



冒険家として活動した父親の足跡を振り返る遼兵さん